



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2010~2011)

- ・ **国際協会会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』  
藤井 寛敏 (東日本区 東京江東クラブ)  
スローガン 『Build a Bridge to the Future』  
「明日《あす》への橋を架けよう」
- ・ **アリア地域会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』  
高田 一彦 (東日本区 横浜クラブ)
- ・ **西日本区理事** 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』  
「Forward with Y's men's spirit in our hearts」  
仁科 保雄 (京都キャピタル)  
副 題 『Let's meet challenge with calmness』 「泰然自若の精神で」
- ・ **六甲部 部長** 『Show Y's care, Sow the seed of Y's』  
安行 英文 (さんだクラブ) 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」
- ・ **西宮クラブ 会長 馬場 一郎** 『交わりを大切に、クラブライフをエンジョイしよう』  
「Let's enjoy our club life through friendship!」

2011年1月

752号

64期7号

since 1948.5.17

スポンサークラブ  
大阪クラブ  
DBC 締結  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

## クラブ主役員

会 長 馬場 一郎  
直前会長 浅野 純一  
副 会 長 瀧崎 進一  
副 会 長 清水 彬久  
書 記 廣瀬 一雄  
書 記 阪根 新  
会 計 岩田 健司  
会 計 足立 康幸  
監 事 藤原 百合子  
担当主事 三島 浩司  
六甲部監事 山口 政紀  
部広報主査 浅野 純一  
区次期交流 廣瀬 一雄

2011年1月 西日本区強調ポイント“IBC・DBC” B C締結で新たな風を！多くのワイズメンとの  
ふれあいで違った自分の発見を！ 平野 実郎交流事業主任 (名古屋クラブ)

## 2011年1月第1例会のご案内

- 日時: 2011年1月21日(金) 午後7時~  
場所: 西宮YMCA 保育園3Fホール  
ドライバー: 長井慎吾メン、浅野純一メン
1. 開会点鐘 馬場会長
  2. ワイズソング 一同
  3. 聖句朗読
  4. ゲスト紹介 長井慎吾メン
  5. 食前感謝
  6. 会食 一同
  7. 入会式 石井恭子さん
  8. ユースリーダーとの交流会
  9. 誕生日のお祝い
  10. Y'sニュース・お知らせ 馬場会長
  11. YMCA 報告 三島主事
  12. 閉会点鐘 馬場会長

## 今月の聖句

『初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ」こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。』

創世記1章1~5節 清水彬久メン 選

12月 例会出席状況 在籍会員数 19名  
第1例会(12.18土) 第2例会(12.3金)  
メ ン 17名 メ ン 10名  
メット・コメット 9名 メネット 0名  
ゲスト・ビジター 13名 ゲスト・ビジター 0名  
合計 39名 make-up 1名 合計 10名  
出席率 94.7%

ファンド・BFの累計	12月	累計
ニコニコ ファンド	5,363 p	21,292p
Brotherhood Fund	0 p	15,000p
使用済み切手	0 g	430g

## Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

1/1 瀧崎 進一メン 1/10 瀧 美智子メネット  
1/1 廣瀬 一雄メン 1/20 山口 政紀メン  
1/5 三島 知穂メネット

## 会長メッセージ

馬場 一郎 会長

あけましておめでとうございます。2011年も皆様にとってよい年になりますように。

会長になって半期が過ぎようとしています。例会から学び、西宮クラブの活動をもう一度考えるきっかけがくれたら・・・、という思いはまだ何も達成できていません。あと半期、何かを見つけることが出来るように取り組んでいければと思います。みなさんのサポートに本当に感謝です。これからもよろしくお願いいたします。

昨年のクリスマス例会はとても楽しい会になりました。塚本先生、お話しにくい場所でしたが、いいお話をありがとうございました。また長井コメットさんが会を盛り上げてくださいました。みんなでダンスになった時には余島での六甲部会を思い出しました。みなさんの中にふつつ燃えるキャンプ魂でしょうか。ゲスト、ビジターのみなさんも会を盛り上げてくださり、楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。ドライバーの山本メン、瀨崎メンお疲れ様でした。会の中でも触れましたが、当日は友愛幼稚園のクリスマス会でした。子どもたちが生誕劇を演じました。担任がとっても手を焼いている年長さんの子どもたちが、みごとに演じきりました。練習の時はどうなるかと心配していましたが、感動ものでした。子どもの力はすごいとあらためて感じました。いいクリスマスの1日を過ごすことができ感謝です。

さて、例会は後6回です。1回1回全力投球でやりたいと思います。1月はずっと思っていたリーダーとの交流を長井ドライバーが中心になって計画してくださいました。この例会を機会にもっともっとリーダーとワイズの関係が深まっていけるようになれば嬉しいなあと思います。未来のワイズメン候補ですから。

どうぞみなさん例会への出席をお願いします。そして今年もよろしくお願いいたします。

## 12月例会報告

ドライバー 瀨崎 進一メン

山本 常雄メン

今年のクリスマス例会は心機一転、会場を須磨ヨットハーバーのレストランオーシャンビュー須磨に移して、初冬の夕日を浴びながら、馬場会長の力強い開会点鐘で始まりました。今年のクリスマスメッセージは、ご自身も以前さんだクラブの会員であられた頌栄短大の塚本潤一チャプレンに「宿屋に泊る場所がなかった」と題してお話をお伺いしました。



塚本チャプレンによる Xmas message

塚本牧師が、以前知人の結婚式に出席のためにダツカを訪れた際、丁度7年に一度の国政選挙に遭遇し、(住民登録のある本籍地への国民大移動の為)泊るホテルもなく、タクシー運転手の好意で彼の町の小学校教室に泊めて貰えることになったその出来事を、2000年前のイエスの生誕物語と重ねて語られたことで、昔の出来事を身近に感じることの出来る良い機会となりました。そのあと、西宮クラブの次期会長職を受諾された瀨崎メンから受諾の経緯・抱負が語られ、参加クラブ員の信任を得られました。第2部は山口政紀メンの食前感謝、続いて安行六甲部長による乾杯ご発声の後、元ポートピアホテルに居られた川上シェフのお任せ料理に舌鼓を打ちながら、また持寄りのスペシャルドリンクスに酔いし

れながら、大いに語りまたプレゼント交換等を楽しみました。第3部はミッキー大場アンドミッキーズバンドによるオールディーズやクリスマスソングのライブがあり、全員の方がダンスに興じ又生バンドによるカラオケも飛び出して大いに盛り上がりました。



全員でダンスを楽しみました

ゲストは塚本牧師の外に、安行六甲部長、芦屋クラブより桑野会長、飯田・吉岡各メン、神戸クラブからは鵜丹谷会長、神戸ポートクラブ/大野会長・佐野メン、神戸学園都市クラブ/合田ご夫妻にお越し頂きました。西宮リーダーOBの石井恭子さん、近江八幡クラブの安田次期西日本区事務局長の従兄弟の山口吉郎さん、山本メンの知人で、神戸YMCAのホテル学校2期生で、又チャリティゴルフやチャリティワインの常連の万本敬一さん等入会予定者?にもご参加頂き、新しい時代の夜明けを予感する素晴らしい会となりました。西宮クラブからはメン17名、メネット7名、コメット2名の総勢39名でクリスマスを祝いました。



全員で集合写真! ハイチーズ!

## 国際協力募金

小野 勲紘メン



年末恒例の神戸大丸前での国際協力募金

今年も年末恒例の国際協力募金が、ルミナリエ大詰めめの12月12日(日)14:00 - 16:00の2時間、神戸大丸前で呼びかけました。「暖冬」+「ルミナリエ」+「不景気」+「対象被害」等の影響か雑踏に紛れて呼びかける声も通り難かったようで、募金額は控え目の¥50,178也。横断幕や視覚に訴える工夫で効果を上げて欲しいと思います。YMCAが活動しているという、人ごみに負けないアピールが欲しいと思います。(ユニセフのワッペンを付けているご婦人が募金して下さいましたが、募金者にYMCAをアピール出来るようなシールのような粗品を差し上げてはどうか) YMCA職員、ワイズ、ボランティアで総勢30名参加。西宮クラブからは山口メン、メネット、小野の3名が参加。

## 西日本区だより6

2011~12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン

12月17日、金曜日午後7時開演の“キャロルの夕べ”に行きました。恒例の素敵な会場の宝塚ベガ・ホールで西宮・宝塚YMCAと宝塚ワイズメンズクラブの主催で2010チャリティ市民クリスマスです。

今年で6回目ですが私も参加者として皆勤させて戴いていますが年々魅力を増しています。

第1部は朗読と音楽でつづるクリスマス。ホフマン原作のクリスマス物語を腹話術の朗読で芦屋



芦屋クラブ 羽太メネットによる腹話術クラブの羽太メネット。オルガン、ピアノ、合唱、独唱、ハンドベルと色とりどりのキャストिंग。

第2部はみんなでクリスマスを祝おう。司会とフラは宝塚クラブの石田ウイメン。関学三田キャンパス・フラサークル・マハロが出演する



ということで?かぶりつきの座席を確保。今年から平均年齢もど~んと下がっています。

メロディーベルの合奏、ポップンキッズの親子の皆さん、など盛りだくさん。



出演者も若返りの宝塚市民クラブ

そして第3部はみんなでキャロルを歌おう。「もろびとこぞりて」他か6曲を会場の皆さんとともに合唱。いよいよフィナーレはハレルヤ・コーラス。のどに自慢の皆さんが舞台上がって合唱団と一緒に大合唱。

会場を離れようと椅子を立とうとするとすぐ後ろには、宝塚の今田メン。お元気そうでなにより。ロビーにでると西宮の堤メン。藤原ウイメンが神戸Yの少年部からの同僚の草地さん。指揮者の若林メンのお知り合いということで車でこられたとか。合唱には芦屋クラブの堀江メン、宝塚の長尾メン、多胡ウイメンの皆さんを始めスタッフとして宝塚の福田会長を始めとし

てメンメットが西宮・宝塚Yのユースリーダーと



ともにお手伝いをされていました。今般の写真は宝塚の山崎メンにご提供頂き感謝。

神戸YMCA創立125周年記念事業を成功させよう

## 125年を振り返って

(その6)

125周年記念事業実行委員長

長井 慎吾メン



125周年に際し活動の原点を振り返るため、

神戸YMCA125年の先達の偉業をレビューしています。

今回は会員募集運動の成果についてです。「神戸とYMCA百年」を読みながら執筆しておりますが、大変感動した一節なので、少し長くなりますが、そのまま引用させていただきます。神戸YMCAが活動を再開した翌1946年(昭和21年)、神戸教会の地下室でのプログラム展開には、目を見張るものがあったが、YMCAとしては会員を集めることに多くの関心があった。この年登録した会員は240名、その内正会員は151名を占めていた。(中略)翌1947年10月11日に新会員募集運動を展開したところ、20日間に目標を越える304名が加わった。意を強くした指導者は、今度は500名に目標を置き、翌年649名を集めた。募集の方法も、競争方式をとり、チームを組んで、優秀者を表彰することになっていた。その一人ワ

イズメンズクラブの山本直道は、20日間に78名を一人で集め、個人優勝し、周囲をアツと驚かせた。さらに、翌1949年のキャンペーンでも連続一位となり、日本YMCA同盟より記念賞が授与された。山本のYMCAを愛する姿勢は、その後も一貫して変わらず、人後に落ちないほどの情熱家である点も変わらない。この会員募集運動は、毎年期間を決めて会員の間に組織委員会をつくり展開した。このために、会員たちはYMCAのなんたるかを学び、説明できるようにと養成講座にも出席し、相互に交わりを深めていく。そして、その過程で、YMCAのよき理解者となり、担い手としての自覚に芽生え、隣人に奉仕することの喜びを体得していく。ここに、YMCA運動の意味を見出し、いったのである。山本直道メンのようなYMCAを愛するメンバーが多く集う神戸YMCAは、125周年を節目にさらに飛躍するものと確信します。

## 神戸からXmas祝会に参加して

小野 勅紘メン

毎年年末になると我西宮クラブと芦屋クラブのクリスマス祝会に参加するのが恒例になっているが、六甲部の他のクラブのクリスマス祝会には意外に出ていなかった。そこへ神戸クラブからのお誘いの案内があった。北野異人館通りにある神戸外国倶楽部という会場にも興味があったので参加してみることにした。

12月21日(火)当日は小雨模様の中、三宮からトーアロードを北上した突き当たり会場はあった。この格調高い社交場は普通は神戸在住の外交官や商人が会員制で利用出来る場で普通は入れないが、河合メンご夫妻の紹介で利用出来る幸運となった。木製の階段を上がって、

これまた木製の迷路を突き進むと会場に到着した。上品なフランス料理とシャンパンをご馳走になった。例会の冒頭では四日市の元メンバーの山根貞夫司祭からクリスマスメッセージを頂いた。久しぶりにメネットを伴って参加の神戸ポートクラブの大野勉メンの恒例の歌の時間を楽しく過ごし、交換プレゼントで盛り上がり閉会となった。



神戸ポートクラブ 大野勉メンの恒例の即興ライブ

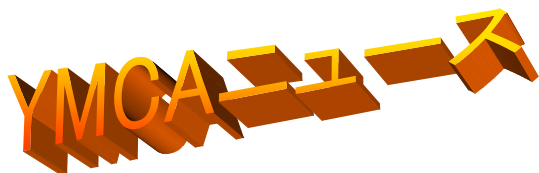
最後に、大野メンから去る20日に神戸ポートクラブの丹羽武夫メンが天に召された旨の報告があった。

## リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 おだ みつき 小田 美津紀さん

いつもリーダー会を応援していただいております。12月のリーダー会の活動は、毎月行う例会に加え、クリスマス会や冬のキャンプがあります。例会では、スケートに行って子どもたちにスケートを教えました。初めてスケートをする子どもたちは、滑りやすい氷の上で何回も転んでいましたが、すぐに立ち上がり、弱音も吐かず頑張って練習をしていました。最後には一人で氷の上を歩いたり、滑ることができるようになっていました。クリスマス会では、リーダーでクリスマスにちなんだ劇をしたりハンドベルで音

楽を奏でました。また、参加していた子どもたちと一緒にゲームをしました。今は、キャンプに向けてリーダー皆で協力し、子どもたちにとって楽しいキャンプを作るために話し合い、準備をしています。スキーキャンプに参加するリーダーは、子どもたちに教えるスキーのスキルを上げるためにリーダートレーニングにも行かせていただき、キャンプに備えています。この冬のプログラムはリーダー会活動の2010年締めくくりでもあるので、リーダー一同、精一杯頑張りたいと思います！どうぞこれからもご支援よろしくをお願いします。



西宮YMCA 三島浩司メン

12月、神戸YMCAでもイエス様のお誕生をお祝いするクリスマスのイベントが様々な形で行われました。西宮YMCA保育園では、12月11日にクリスマス会を行い、歌や合奏、劇などをイエス様へのプレゼントとして披露しました。中でも、5歳児の子ども達が演じたイエス様の降誕劇は、観に来られた方々に大きな感動を与える素敵なものでした。皆様のクリスマスはいかがでしたか。私は、クリスマス・イブの礼拝でアドベントクランツについて、ドイツで伝わるお話を伺いました。1本目のろうそくは「平和」。人間は時代や場所に関係なく、多くの争いを繰り返している。この世界に「平和」を求めても手にすることは出来ない。そう言いながら1本目のろうそくの炎はだんだん小さくなり、やがて消えてしまった。2本目のろうそくは「愛」。人々は皆、自分のことばかり考え、隣人を愛することなど忘れてしまった。そう言いながら2本目のろうそくの炎もだんだん小さくなり、やがて消えてしまった。3本目のろう

そくは「信仰」。人々は皆、お金や物を手に入れることに囚われ、もはや神様のことなど見向きもしなくなってしまう。そう言いながら3本目のろうそくの炎もだんだん小さくなり、やがて消えてしまった。この世界はこれからどうなってしまうのだろう…。その時、4本目のろうそくが炎を輝かせながら言った。まだ大丈夫。僕が残っている。僕が、もう一度他の3本のろうそくに火を燈すからと。4本目のろうそくは「希望」。この世から光が奪われ、闇に覆われても「希望」のろうそくが消えない限り、また「平和」「愛」「信仰」のろうそくにも再び炎が燈り、この世を明るく照らすことが出来る。といった内容のお話でした。地球規模での環境破壊や紛争、災害。また、経済不況等々、今は多くの闇に覆われていますが、「希望」だけは、決して手放すことなく歩いていければと思います。神戸YMCA125周年となる新しい年、2011年が希望に溢れた1年となりますように。

#### 今後の予定

##### 1) 新春YYフォーラム(創立125周年キックオフプログラム)

ワイズメンズクラブと共催で、新春の懇談の時を持ちます。創立125周年を記念する2011年の幕開けで、創立記念のキックオフプログラムとして開催されます。今回もユース委員会の若い委員の方々が企画して下さいますので、是非ご参加ください。

日時：1月 8日(土)13:00~18:00

場所：神戸YMCAチャペル他

##### 2) CPR(心肺蘇生法)・AED(自動体外式除細動器)講習会

西宮YMCAでは、2007年度よりAED(自動体外式除細動器)を設置していますが、地域の方々にも万一の時に有

効に活用して頂く為に、使用方法等の講習会を行いますので、是非ご参加ください。

日 時：1月14日(金) 10:00~11:30

場 所：西宮YMCA 3階C教室

### 3) 三田YMCA開所式

2011年2月1日より、三田YMCA事務所を三田駅北側の176号線沿いに移転することとなりました。下記日程で開所式を行いますので、是非ご出席下さい。

日 時：1月29日(土) 16:00~17:00

場 所：三田市高次2丁目4-38 前中ナビル  
(JR 三田駅北側徒歩5分)

## 西宮YMCA保育園だより

三島 浩司メン(保育園園長)  
(西宮YMCA保育園だより12月号より)

### 12月の主題：喜び合う

つい先日、我が家の子ども達、そして、新しく我が家の家族に加わった子犬と共に近くの公園へ出かけました。多くの親子連れや犬を連れて人々が穏やかな一日を楽しんでいる姿を見て、「平和」のありがたさを噛み締めていました。と同時に、「平和って何だろう?」と改めて考えてみました。戦争、飢餓、災害、病気などが無いこと?公園にいる人々は、本当に「平和」なのだろうか?多くの人、大人も子どもも仕事や勉強、健康や人間関係などに関して不安や悩み事を持っているのではないかと、とても穏やかな人々の中には、本当の「平和」から離れてしまっている人もいないか?ふと、そのようなことを考えてしまいました。保育園でもクリスマス会が近づいてくるこの時期、歌や劇の練習をする中で、新しいことへの挑戦やお友だちと一緒に取り組むことを楽しんだり、お家の人たちに観てもらうことやイエス様のお誕生を楽しみに待ったりしながら、一方では、子ども達なりの不安や緊張を感じている様子も窺えることがあります。

数年前、卒園後に海外へ行くことを不安に思っていたある子どもが、同じように不安な気持ちになっていたお家の人に、「大丈夫。向こうにもちゃんと神様がいて先生が言ってたよ。」神様は、私たちから戦争や飢餓、災害、病気といったものを全て取り払うのではなく、その中で、不安や苦しみ、悲しみを抱えている一人一人の傍に寄り添ってくださいます。そして、共に悩み、苦しみ、悲しんでくださいます。いついかなるときも「あなたは一人じゃないよ。私がいつも傍にいるよ。あなたと共に悩み、苦しみ、悲しんでいるよ。」と語りかけてくださいます。保育園の子ども達も神様やイエス様、そして、お友達やお家の人や先生達、多くの愛の中で不安を乗り越え、クリスマス会をすばらしい笑顔で迎えることができますように。また、このような神様の大きな愛の証としてお生まれになったイエス様のお誕生を、多くの人々と共に喜びあうことが出来るクリスマスになりますように。

イエス様がお生まれになった時代、羊飼いは、休みもなく朝から晩まで羊についてまわり、羊を守っていました。この時代のユダヤ教の大切な律法であった「安息日」を守る事ことも出来ませんでしたし、自分の家を持つ事も出来ませんでした。このような羊飼いを当時の祭司や一般の人々は蔑んでいたようです。けれども、神様から全ての人々への大きな愛の証であり、贈り物であったイエス様の誕生については、祭司でなく、また、王でもなく、人々から蔑まれていた「羊飼い」に一番に伝えられたのです。神様の大きな愛が自分たちにも注がれていることを知った羊飼いは、大喜びで救い主であるイエス様の姿を見るためにベツレヘムへと向かいました。私たちは、羊飼いのようにイエス様を直接見ることは出来ませんが、神様から私たちへの大きな愛の証であるイエス様を見ることが出来るように心の目を持ち、心のベツレヘムへと歩み続けたいと思います。

12月聖句：さあ、ベツレヘムへ行こう。

(ルカによる福音書2章15節)

# 音を重ねる日々は心を重ねる日々に-46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム  
 LOVE 代表ひがしの ようこさん  
 音を重ねる日々は心を重ねる日々に -  
 47 今月もお休み  
 濱 浩一メン

## ワイズニュース 馬場 一郎 会長

- 2011年1月第2例会は、1月8日(土)10:30~、神戸YMCA4階第2会議室です。その後YYフォーラムに参加します。
- 2011年1月第1例会は、1月21日(金)19:00から、リーダーとの交流会を行います。なかなかリーダーとの交わりの時が持たないので、今期はぜひ行いたいプログラムでした。みなさん、ぜひご参加を。
- 神戸クラブの恒例の新年(フグ)例会が、1月8日(土)18:30~20:30で、神戸YMCA4階サイコー亭で行われます。

## 水の流れるままに37

(俳句) 山野 直行(小野勅紘)

### ひとふたと散りて実を知る 帰り花

(「帰り花」は「返り花」とも呼ばれ、一般的には季節はずれに咲く冬桜を指す場合が多いが、なし、山吹、つつじ、など多岐に亘り、言わば狂い咲きの花を言うそう。そう言えば婚期(季節)を逸した私も狂い咲きたいものだが…。そういった花は一見桜とは見分けがつかないが花が散って実を結んで初めて、ああ、冬桜なのかと知るようになる奥床しい花でもある。ひとふた(一)・実(三)・知る(四)と韻を踏んでみた。)

### 湯気上がる 糊と障子と 父の顔

(毎年年末になると正月準備は父のリードで進められた。会社が29日から休みになり、29日は関西では「苦餅」といって餅つきは30日に廻す家が多い。そのために29日の父の仕事は、我々悪ガキが破いたり落書きをした障子や襖の張替えであった。早朝からお湯で障子を濡らしタワシでゴシゴシ剥ぎ取って行く。そんな父の手元によく駆り出された。お湯の湯気が糊と障子の間に立ち上がり、腕を捲り上げた父の顔にも湯気

が立ち上がる。そんな年末の恒例の風景ももう見ることはない。)

### いぼ <sup>といちつきひ</sup> ・疣取れし十一月日の爺の灸

(祖父は生前11月11日になると疣(いぼ)の上に百草を乗せてお灸をするのが習慣であった。「アチー、アチー」と耐えているのが可笑しかった。祖父の灸では「11月11日11時11分11秒」にお灸をすると疣が取れると言うのだ。今となっては全くの迷信なのだが、11月11日になるとそんな灸で熱さに耐えている祖父の顔を思い出す。)



(近2ヶ月の予定表) 小野メンの力作です

《今後の予定》			
1月(ドライバー:長井、浅野)		2月(ドライバー:宮地、清水)	
テーマ	IBC・DBC	テーマ	TOF・CS・FF
日	行事	日	行事
4	火 神戸YMCA職員礼拝	4	金 第二例会(役員会)19:00
8	土 第二例会(役員会)18:30 YYフォーラム(神戸YMCA)3:00 125周年記念イベント	8	火 神戸クラブ第一例会
9	日 神戸クラブ第一例会18:30	9	水 宝塚クラブ第一例会
9	日 西日本区役員研修会	10	木 神戸ポートクラブ第一例会
10	月 ホテルクワイン新大阪	12	土 パレンタインコンサート三田
	後期半年区総甲種締切	15	火 西日本区費納入締切
12	水 宝塚クラブ第一例会	16	水 神戸西クラブ第一例会
	〈さんだクラブ第一例会〉	16	水 芦屋クラブ第一例会
13	水 神戸ポートクラブ第一例会	17	水 神戸学園都市クラブ第一例会
18	火 神戸西クラブ第一例会	18	金 第一例会-西宮YMCA19:00
19	水 芦屋クラブ第一例会		
20	水 神戸学園都市クラブ第一例会		【125周年記念イベント】
21	金 第一例会-西宮YMCA19:00	5	1 国際姉妹YMCA会議
29	土 三田YMCA開所式16:00	5	8 創立記念日礼拝・記念式典
		5	14 ハンドベルコンサート
		9	10 記念講演・シンポジウム
		1	7 記念音楽イベント(2012年)
			《ドライバー》
毎	金 60周年誌編集作業 18:00	3	山口、浅野
	〈第2・第4会議室中心〉	5	小野、清水
		4	関根、堤
		6	瀧崎、馬場一

メーカーキャップ等にご活用下さい

編集後記 プリテン委員長 山本 常雄

あけましておめでとうございます。丁度1年の折り返し地点です。下半期は入会者続々の予感です。出席率も90%を超え、活気に満ちています。この調子で馬場会長を皆で支えましょう。瀧崎副会長も宜しくお願い致します。本年もコースリーダーとのコラボレーション等大いに頑張りましょう。神戸YMCA125周年の記念の年でもあります。皆で記念事業を大いに盛り上げましょう。